

# 山の日情報

(第 16 号)

平成29年10月 2日

秋田県生活環境部  
自然保護課

## 【活動記録】

奥森吉地域は、かつて放牧場として開発され、広大なブナ林が失われました。このブナを主体とした広葉樹林を再生しようとする取り組みが平成18年より進められており、森吉山鳥獣センター運営協議会などは毎年、植樹イベントを開催しています。

今年も9月30日に森吉山野生鳥獣センター付近にて、ブナやトチノキなどの苗木100本を植樹しましたが、これには登山道等再整備事業(ボランティア事業)の後援団体である日本山岳会秋田支部の今野昌雄支部長も参加をしてくれました。

ブナ林の復元には100年という長い年月がかかります。

目先のことではない100年後のブナ林を目指した取り組みをしていくには、次世代の者が「想い」を引き継いでいかなければならず、10年以上も植樹を続ける活動には感服させられます。

平成29年度登山道等再整備事業は、おかげさまで3箇所にて約114名の方々に参加をしていただき無事に終了することができました。

当該事業を始めて2年目となりますが、5年、10年を目指して平成30年度以降も事業を継続していきたいと考えています。

ご協力くださった参加者及び関係者の皆様、誠にありがとうございました。



(クラフトには米内沢と前田の児童クラブが参加)



(植樹作業)



(親子の参加者)



(100年後のブナ林に想いを馳せる)